

事 業 報 告 書

指定試験機関名：公益社団法人調理技術技能センター

検 定 職 種：調理

事 業 年 度：平成29年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

事 項	実 施 状 況
1 試験問題の作成	<p>(1)中央試験委員会の開催 試験問題、実施要領及び採点基準の作成等について審議するため、7部門毎に開催</p> <p>(2)学科試験問題の作成 前期（すし、中国及び給食用特殊料理）、後期（日本、西洋及び麺料理）について、厚生労働省の承認を得て作成</p>
2 試験の実施	<p>(1)受験申請書の受付 前期 平成29年4月3日（月）から同年 5月8日（月）まで受付 受付件数 700件 （実技465件、学科196件、両試験免除39件） 後期 平成29年9月5日（火）から同年10月6日（金）まで受付 受付件数 529件 （実技374件、学科117件、両試験免除38件）</p> <p>(2)実技試験水準調整会議の開催 前期 平成29年6月1日（水）から同年6月29日（木）までの間に札幌市、仙台市、東京都、長岡市、名古屋市、大阪市、兵庫県上郡町、広島市、福岡市及び鹿児島市の10か所において開催 後期 平成29年11月2日（木）から同年11月28日（火）までの間に仙台市、東京都、静岡市、名古屋市、金沢市、大阪市、西宮市、高松市、福岡市、鹿児島市及び沖縄県の11か所において開催</p> <p>(3)学科試験の実施 前期については平成29年8月1日（火）に、後期は平成30年1月14日（日）に各試験会場において実施</p>

事 項	実 施 状 況
<p>3 合格者の決定及び発表等</p> <p>4 内部監査</p>	<p>前期受験者 189名(10会場) 後期受験者 109名(10会場) 計 298名</p> <p>(4)実技試験の実施 前期については、平成29年7月30日(日)から同年8月26日(土)までの間に各試験会場において実施 後期については、平成30年1月13日(土)から同年2月16日(金)までの間に各試験会場において実施 前期受験者 448名(10会場) 後期受験者 348名(11会場) 計 796名</p> <p>(1)合否の判定及び合格者の決定 調理技術技能評価試験事務(業務)規程に定める合否基準に基づいて判定し、厚生労働大臣に提出のうえ合格者を決定</p> <p>(2)合格者の発表 前期については平成29年9月29日(金)に、後期は平成30年3月30日(金)に合格発表を行い合格者に通知 学科試験合格者数 100名 合格率 33.6% 実技試験合格者数 589名 合格率 74.0%</p> <p>(3)認定・合格証書の交付 平成28年度後期合格者については平成29年5月24日(水)から、平成29年度前期合格者については同年11月16日(木)から、それぞれ厚生労働大臣の認定・合格証書を交付</p> <p>(4)認定カード等の交付 認定カード121枚、認定楯51個、認定バッチ(襟章)141個を交付</p> <p>平成29年4月28日(金)に(公社)調理技術技能センターにおいて、平成28年度の試験業務が適用法規及び規程に基づいて適正に行われているか自己点検を目的に内部監査を実施</p>

事 項	実 施 状 況
5 技術考査の実施	技術考査実施校 287校 受験者数 12,659名 合格者数 11,994名 合格率 94.7%
6 調理師熟練者講習の実施	11会場 修了者数 261名
7 広報等	<p>(1) 広報用案内リーフレット「試験のあらまし」を9千部作成し、都道府県、指定都市、政令市、特別区の衛生主管部、都道府県の職業能力主管部及び全国の保健所等に送付して、業界等に対する指導、周知及び市の広報紙等への掲載などを依頼</p> <p>(2) 「試験のあらまし」を調理関係団体及び調理関係業界誌等に送付して、試験制度の主旨及び試験実施日程等のPRを依頼</p> <p>(3) ホームページにおいて、専門調理師・調理技能士資格のPRを図るとともに、試験の概要、試験実施後3年分の試験問題及び試験実施の具体的内容等について、より詳細な情報を提供</p>
8 その他	<p>(1) 試験委員の委嘱 地方試験委員22名を追加選任</p> <p>(2) 秘密保持義務、業務制限等の周知状況 平成29年4月に、「秘密資料等取扱いマニュアル」によって周知するとともに、理解度テストを実施 また、中央試験委員会、水準調整会議において、「事務手引き」及び「試験委員の秘密保持に関する規程」によって周知。</p>